



東校だより

夏休み号

令和3年7月20日
横浜市立東小学校
校長 保科 桂子

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azuma/>



「時間を超えて学び合おう 輝き合おう 響き合おう」

児童支援専任 田内健太郎

「たてわり活動があるから東小は仲がいいよね。」「ふれあいステージはTV放送でやっているんだね。」老松中学校の図書室で米川生徒会長ら3人の卒業生と6年生の代表児童が話し合っています。

7月8日に行われた「子ども会議」では、老松中ブロックの3校の代表と中学校の生徒会メンバーが「誰にとっても居心地のよい学校づくり」について意見を出し合いました。

老松中生徒会長の米川さんは東小の企画運営委員会で3年間活動し、応援団長も経験しました。その時に企画した全校集会や運動会を盛り上げた充実感が、生徒会長への立候補につながったそうです。書記の栗原さんは、米川会長の活躍を見て、生徒会に入りました。また、栗原さんも6年生の時に子ども会議に出席したことがあるので、6年生の緊張感をほぐしたり、発表の仕方を助言したりしてくれました。会計の江原さんは、東小で朝会やたてわりリーダーとしての発表を通して人前で話すことに自信をつけたという話が聞かれました。この先輩たちと話すことで、子どもたちは普段6年生が頑張っていることの価値の大きさや身についていく力を感じることができました。

クラスの話し合いで6年生は、「誰にとっても居心地のよい」という部分について、たてわりの1年生▲▲さん、同じフロアの3年生○○さんなどと具体的に名前をあげながら考えることができました。

そういった具体的な子どもたちの顔が浮かべて考えることも当たり前のことではなく、東小の雰囲気と行事によって受け継がれたものであるということがわかりました。

また、「居心地のよい学校づくり」の具体的な対策として「6年生が悩んでいる人の相談にのってあげるお悩み相談」や「友達スタンプラリー」を6年生は計画しています。このアイデアは東小でこれまでに経験したこと、してもらったことの経験をベースに考えられたものであり、これらを東小のみんなが体験することが居心地のよさにつながっているということを学びました。そして、こういったことを計画し、経験することが将来にもつながっていくということが実感できたのではないのでしょうか。東小学校で経験できることはすべての学びにつながります。ひょうたん池のメダカ・グリーンカーテン・思ようせい・110周年のモザイクアート・スーピタ・ふれあいステージ、学校にあるものやイベントにはすべてそれにまつわるドラマや学びがあります。興味をもったものについて話題にしてみませんか？そこから色々な人へつながっていくことができるのも東小学校の魅力だと思います。



モザイクアート



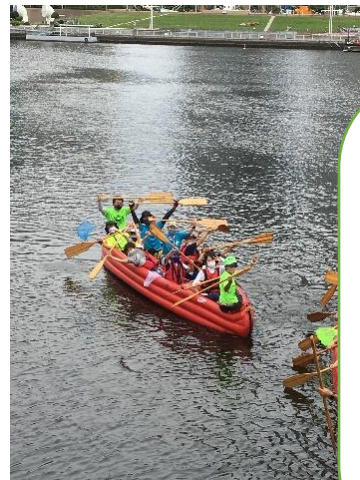
宝箱

東小は現在 116 歳です。110 歳の時に、当時の 6 年生の授業で思ようせいが誕生しました。110 周年の時の子どもたちや先生の顔がモザイクアートで階段に飾られています。職員玄関の宝箱は 120 歳の時に開けるタイムカプセルです。



ひょうたん池

6 年生や飼育栽培委員会の子が掃除をしました。池の底の水漏れを直してくれたのは「やろう会」です。きれいになった池に保護者や地域の人からもメダカをいただきました。代々子どもたちの大好きな場所です。



東小の高学年や卒業生は乗ったことがある E ボートです。7 月には地域のイベントで子どもたちがみなとみらいまで乗せてもらいました。

帰りは川のごみ拾いも行いました。

お知らせ

8月3日(火)～8月16日(月)に、「学校閉庁期間」を設けます。

この期間は、問い合わせへの対応や転入学事務などの業務を停止いたします。手続き等が必要な場合は、早めにご連絡ください。また、地域クラブ、放課後キッズクラブ以外での校庭の使用もできません。お子様へのお声かけをよろしくお願いいたします。

【期間中の緊急連絡先】横浜市教育委員会 東部学校教育事務所

電話 045-411-0608 (平日8時30分から17時15分までの間)

※緊急の連絡とは、児童の生命にかかわるような怪我や事故、入院のような重大なもの、急な転出、

お子様の新型コロナウイルス陽性判明などです。